

平成30年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(平成29年度事業)

市民による市民のための公民館
～地域に生きる市民の底力～

平成30年9月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用事業（平成29年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	6

資料

I 公民館事業のあらまし	19
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	53
III 公民館運営審議会委員名簿（第26期・第27期）	54

1. はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

2. 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3. 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41. 7. 1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16. 4. 21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（平成 29 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	42,878 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、和室	27,960 人

(3) 組織・職員 ※平成 30 年 3 月 31 日現在

1 課 2 係 (管理係・事業係)

正規職員 6 人

再任用職員 1 人

臨時職員 3 人

嘱託職員 (コミュニティワーカー) 1 人

(4) 主な業務

- ・ 公民館活動 (成人・高齢者・青少年対象の講座等) の企画運営
- ・ 公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・ 公民館施設の貸し出し管理等

4. 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第 26 期ならびに第 27 期公民館運営審議会委員 (資料Ⅲ参照) の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5. 評価の対象

評価の対象は、「平成 29 年度中央公民館基本方針」にある基本施策 10 件及び重点施策 3 件を対象といたしました。

1 基本方針

公民館を日野市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

2 基本施策

(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを実感できるような事業の展開を図る。

(2) 誰もがともに生き学びあう機会を保障し、相互理解の推進に努める。

(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを理解できるような事業の展開を図る。

(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生をはかるような事業を展開

する。

- (5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。
- (6) 日野市をふる里として生きていけるような、地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。
- (7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。
- (8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような事業の展開を図る。
- (9) 地域社会を活性化させる担い手となるリーダーの育成を推進する
ような事業を展開する。
- (10) 地域や日野市民の生活に根ざした諸問題を取り上げた事業を展開する。

3 重点施策

- (1) 地域に根付いた学習活動の充実
地域偏在の解消と地域の特色を活かした公民館事業の検討
- (2) 子ども、若者を対象とした事業の拡充
学びや体験の機会の提供、大学連携による学びの場の創造
- (3) 談話室を活かした情報発信のしくみづくり

6. 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

平成29年度事業については、公民館を外に発信する新たな視点での取り組みが始まったほか、課題項目を把握した上で、基本施策及び重点施策を組み立て、事業全体のバランスの見える化も図りながら実施されている。

全体として、事業の目的、内容、成果の分析等がしっかり行われており、次世代につなげていくことを視点にした事業が展開されている。

特に、重点施策のうち、子ども、若者を対象とした事業の拡充については、今後につながる成果を残すことができた。年間をとおして実施された帝京大学教育学部との連携により、学生たちと関わりながら新たな学びの場を創ることができたことは、大きな成果となり、今後の公民館の未来を拓いたのではないか。若者の価値観や学生の視点に基づく刺激的な発想を生かし、これからの公民館を考えていくきっかけとして、継続して取り組んでほしい。

また、小中高生を対象とした「囲碁・将棋」サロンは、談話室の活用を図り、公民館の存在を知らせ、居場所となる子どもたちがさらに増えることを期待する。

新たな切り口での講座として、民主主義をテーマとした「若者たちで考えるまちづくり」、公民館利用者とともに公民館について考える「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」など、公民館での新たな学びのかたちを生み出すことができた。学社連携を図る上においても、地域をつなぐ学校と公民館の相互連携のチャンスであると考えている。従来の公民館

像に加えて、新しい取り組みを、継続してほしい。

公民館が現在を生きる人々にとってはもちろん、未来の市民のためにも意義ある施設であり続けるためには、公民館活動の持続可能性を考えることが必要である。それには、単に前年度の事業を継続していればよいのではなく、公民館活動を通して、「学ぶ」主体が、他者と「つながる」さらに社会のなかで「行動する」姿勢が公民館活動を未来へ引き継いでいくために不可欠である。そうした視点から地域のつながりづくりを意識し、地域の人財を発掘して巻き込んでいくなど、人が育つ基盤である地域をステージとした公民館事業の検討、継続・発展に期待したい。

公民館運営審議会の意見としては、別表評価表に施策ごとに記している。

以下に、一部抜粋し、課題を記しておきたい。

- ・若い世代と人生経験豊富な世代との積極的な出会いと協働のチャンスを是非具体的に広げ深めて欲しい。
- ・地域偏在の解消や地域の特色を活かした公民館事業を重点目標にした点は評価したいし、継続してほしい。それとともに地域にどのような課題があるのか、それをどのようにつかむのか等の方法を研究してほしい。また、地域人材の発掘も課題である。
- ・みんなの居場所として談話室の活用をさらに深めていってほしい。
- ・日野市を理解するための「学び」については評価するが、「つながり」「行動する」については議論の余地がある。もともと日野に住んでいる方や、新たに日野で暮らし始めた方、外国の方々などとの融合が、市民のふる里づくりの基本である。
- ・ゼミ方式、アクティブ・ラーニング方式を採用し、その結果を発表する場を設けて欲しいし、若者の公民館に対する関心度を上げる一助としたい。
- ・若手や壮年の中からリーダーが出てこなければ、公民館の未来は暗い。しかし、大学との連携をとり、分かりやすい講義やワールド・カフェ方式など実施した公民館について考える講座などはとても好評だった。今後も、このような講座を続けて欲しい。大変重要で大切な課題である。

《公民館の自己評価》

平成 29 年度中央公民館事業は、公民館基本構想の実現に向けた基本計画に沿って、基本施策 10 及び重点施策 3 を踏まえ、83 の事業を展開した。実績数値から、平成 29 年度における公民館主催事業の参加人数は延べ 21,364 人、中央公民館施設利用者数延べ 42,878 人、高幡台分室延べ 27,960 人となり、年間で延べ 92,202 人が公民館事業に関わったという結果となった。

事業の企画立案にあたっては、公民館での「学び」を4つのステージに分け、従来の社会課題、市民ニーズを踏まえた講座に加え、大学連携や外へ向けての発信を視点に入れた新たな事業、重点コンセプトなどを盛り込んだものを年度当初に作成し、個々の事業について職員間で共有、議論し合い、課題を抽出しながら作りこみ事業展開を図った。このように公民館運営の全体を可視化することで、事業の目的を明確にし、基本施策や重点施策に加え、「新しいことが生まれるみんなの居場所」をコンセプトにした居場所づくりや、帝京大学との大学連携から見えてきた新たな発想などを取り入れ、様々な切り口から多様な学びの場を展開することができた。

特に、「若者を公民館」へというコンセプトのもと、帝京大学教育学部との連携では、学生たちが社会教育を学ぶ実践の場として、公民館でのフィールドワークを展開し、職員、利用者との関わりを深めながら、ゼミの中で日野市の公民館について研究し、12月には成果報告会を行うことができた。公民館は「地域のリビング」であるという提案など、学生目線での新しいコンセプトなどを踏まえ、今後の事業に活用し、連携をさらに深め継続していきたいと考えている。

また、利用者が単に講座に参加するだけでなく、これからも公民館に何か関わりを持てるような仕掛けを探っていたが、公民館保育室を利用するお母さんサークルへの働きかけ、保育制度を活用した講座の実施、囲碁・将棋をきっかけにしたサロンづくり、ワークショップ形式を取り入れた講座、情報発信の強化など職員からも積極的なアプローチに努めた。平成29年度は「学び」で「人」が集う、新しい出会いの場としての公民館づくりにも取り組んだ。

コンセプト「学びでまちをデザインする」

- ①社会課題・市民ニーズなど生活課題、地域特性を学びにする
- ②若い世代を公民館へ
- ③ひの市民大学の特色を生かした学びの循環、新しい視点での学び
- ④新しいことが生まれるみんなの居場所 サークル支援、仲間づくり

人と人を学びでつなげる工夫、公民館から生まれる地域のつながりの仕掛けなど、個々の事業を展開し発信することで、これからの新たな公民館の在るべき方向性を探り挑戦した。その結果、少しずつだが着実に、日野市における新たな公民館像が形になりつつあると考える。

今後も、時代のニーズに対応し、市民が求める「市民による市民のための新しい学びの場」を創っていくため、継続的に事業を進めていきたい。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(1) 市民が楽しく学び、集って生きることの素晴らしさを 実感できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼】 1,415,000円
【目的】 すべての人が学ぶことの楽しさ、集うことのすばらしさを実感できる事業を展開することを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「陶芸入門」「初心者向けパソコン入門講座」「夏休み子ども囲碁・将棋入門」「中高年から始めるらくらくピアノ」「地図でたどる多摩の鉄道と街」「押絵で作る花と干支」「宇宙の話を楽しく学ぼう」「月に一度は郷土鍋。」等のほか、映画会、「ゆる・カフェ・時間」などの居場所事業まで、計42事業を実施した。 【内訳】成人事業9、高齢者事業7、青少年事業9、ひの市民大学11、映画会6		延べ参加人数	3,642人
事業の成果	例年同様、幅広いジャンルの講座を企画・実施し、昨年度の事業数を上回った。 若年から高齢者までの広い年齢層を対象に、さまざまな方の参加を期待して講座を実施したが、特に小・中学生を対象とした囲碁・将棋講座など新たな学びの場の充実や、中央公民館談話室を活用した「ゆる・カフェ・時間」などの居場所事業も定着しつつある。今後、日程・時間帯・会場を含めて一部に内容の精査を行う必要もあるが、全体として様々な市民が学び合う場としておおむね好評であった。		
公民館運営審議会の意見	○「ばそこんくらぶ」は中央館、「ゆる・カフェ・時間」は高幡台分室で、同様の事業を始めてほしい。 ○市民大学にゼミ方式、アクティブ・ラーニング方式等の導入を検討するなど独自性を。 ○談話室の入口を派手にするなど、楽しい雰囲気を出す工夫をすべき。 ○夜間の時間帯、仕事が終わってからでも参加できるような講座を。 ○小・中学生を対象とした囲碁・将棋講座の継続や出前講座の検討を。 ○映画会は今後も継続を。○「秋フェス」の継続を希望する。		
事業の課題と改善策	講座は幅広いジャンルにわたり展開したが、平日夜間の時間帯の開催などは、今後利用者層を広げる上でも拡充を検討すべき点である。あわせて「居場所事業」の取り組みやアクティブ・ラーニングなど新たな学び方の導入などにも、積極的に取り組みたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(2) 誰もがともに生き学ぶあう機会を保障し、 相互理解の推進に努める。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 4,627,000 円
【目的】 多文化共生、障害者と健常者の交流、世代間交流、男女平等参画社会の推進を図ることができることを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「国際理解講座」「LGBT入門講座」「おんがくでおでかけ！」など5講座と「青年・成人学級」「少年学級」「外国人のための日本語教室」の3つの委託事業を実施した。 【内訳】 成人事業5、委託事業3		延べ参加人数	5,313人
事業の成果	委託事業の「青年学級・成人学級」「少年学級」は、運営やプログラムなどに課題もあるが、障害を持つ人と持たない人との学び合いの機会として定着している。同じく委託事業の「外国人のための日本語教室」は、市内に暮らす外国人にとって、重要な学習機会となっている。LGBTをテーマにした講座も昨年に続き、開催した。 講座については、それぞれ重要なテーマであり、今後も継続して実施していくことが必要と思われるが、さらにPRなどを工夫し、参加者層を広げたいところである。		
公民館運営審議会の意見	○「外国人のための日本語教室」参加者のその後のフォローや、地域還元を考えるべきである。 ○東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界の各国の生活習慣を学ぶ講座を検討して欲しい。 ○この分野は最も公民館が力を入れてほしい分野である。「LGBT入門講座」などは高く評価したい。 ○障がい者と健常者の交流や、男女平等等をテーマにした講座はもっとPRが必要であると思う。 ○ダイバーシティ（多様性）をキーワードに学び合う場の提供を。		
事業の課題と改善策	おたがいの立場を尊重し、相互理解を図る視点での事業展開はとても大切であり、「国籍」「障害の有無」「性別」など、幅広いキーワードを意識し、さまざまな団体と連携も図りながら、講座を企画していきたい。今年度は東京オリンピック・パラリンピックをテーマにした事業にも取り組みたい。PRについても、SNSの活用など新たな工夫を考えていきたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(3) 心身共に健やかに生きることの素晴らしさを 理解できるような事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 329,000円
【目的】 健康志向の高まりの気運を受け、食育、運動など心身の両面で健やかに生きる上で役立つ事業を展開することを目的にする。 【29年度に実施した講座・事業】 「たった一度の人生 自分らしく幸せに生きるには」「いい汗かこう！体にいいもの食べよう」など5講座と委託事業「ひのっ子シェフコンテスト」を実施した。 【内訳】 成人事業3、高齢者事業1、委託事業1		参加延べ人数	368人
事業の成果	「健やかに生きること」という視点から、マインドフルネス、シニアの食と栄養などさまざまなテーマの講座を実施した。 「ひのっ子シェフコンテスト」は、小学生が食育について考える場として、定着してきている。学校によっては、優秀なメニューを実際に学校給食で提供するなどし、現場にフィードバックするとともに、事業のさらなる周知につながっている。		
公民館運営審議会の意見	○食とスポーツの両輪を考えて行くべきで、高齢者に適した軽スポーツの講座を取り入れてはどうか。 ○「マインドフルネス講座」「いい汗かこう！体にいいもの食べよう」など心身両面を取り上げている点はいいと思う。 ○「ひのっ子シェフコンテスト」は給食メニューにも取り入れるなど還元されていて評価できる。 ○「たった一度の人生 自分らしく幸せに生きるには」の講座は、多くの参加を得ており評価する。 ○「子どもの貧困」だけでなく、それをとりまく要因についても講座でとりあげてほしい。		
事業の課題と改善策	ココロとカラダの両面から「健康」を考える講座のニーズは高い。また、現役世代においては働き方につながるテーマや、シニア世代に関心のあるテーマも含め、今後もさまざまな視点から「健やかに生きる」ための講座を検討していく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(4) 自然と人間との共生・人間相互の共生を はかるような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 439,000円
【目的】 循環型社会、持続可能な社会の形成を意図した事業を展開することを目的とする。		延べ参加人数	1,075人
【29年度に実施した講座・事業】 「楽しい農業体験～親子でスイカを作ろう」などの農業体験講座、「ハーブ王子と摘む野草でつくる塩焼きそば」「あなたの知らない多摩動物公園」など5講座と委託事業「田んぼの学校」を実施した。			
【内訳】成人事業3、ひの市民大学2、委託事業1			
事業の成果	自然と人間との共生を考える機会として、事業・講座を展開した。野外で体験型の講座として、参加者が実際に体を動かし、自然と関わりながら作業を楽しみ、身近な自然と触れ合うことができた。 委託事業の「田んぼの学校」では年末に収穫祭を行い、参加者間の交流を深めあう場となった。		
公民館運営審議会の意見	○親子で参加して作った成果を食する講座は素晴らしい。地域の自然を通じて交流もでき、地域の活性化にもつながる事業だと思うので、幅広い年齢層に受け入れられるよう今後とも続けてほしい。 ○ひの市民大学「ハーブ王子と摘む野草でつくる塩焼きそば」「あなたの知らない多摩動物公園」は評価する。一方、子供の参加を認めるべきではないかと思った。 ○SDGs（持続可能な開発目標）関連の講座の開催を検討して欲しい。 ○川に親しんで学ぶというのも、子どもにとってはよいことなので検討を。		
事業の課題と改善策	「農業体験」や「田んぼの学校」などに対する評価は高く、今後も既存事業の継続だけでなく、新たな形を含めて、地域の自然に親しむプログラムは続けていきたい。あわせて、世代ごとの関心に合わせた講座企画も検討していく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(5) 安心できる日野市・安全な社会を目ざした事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 30,000円
【目的】 安全で安心できる街づくりを意図した事業を展開することを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「熊本地震から学ぶ～もしも！いざ！地震が来たら」「防犯講座～詐欺被害にあわないために」の2講座を実施した。 【内訳】 成人事業1、高齢者事業1		延べ参加人数	54人
事業の成果	防災講座、防犯講座の2講座を開催した。防災講座では実際に被災した方を講師に招き、具体的な経験談から参加者にとって得るものがあった。また、防犯講座はインターネット詐欺など、例年と異なりSNS関連を中心としたものになったが、一定の参加者を得る成果につながった。		
公民館運営審議会の意見	○防犯、防災の実態を一番よく把握している警察署、消防署の現署員を講師に招いてはどうか。 ○「熊本地震から学ぶ～もしも！いざ！地震が来たら」は体験談と身振り手振りの説明がよかった。 ○こうした講座は中央公民館だけでなく、移動公民館や、各自治会とのタイアップが必要ではないか。 ○地域特性を踏まえた企画力が問われている。防災安全課や近隣大学などとの連携を深めるべき。 ○自転車事故などを防ぐために、交通安全教室もやったらよいと思う。 ○この項目の講座数が2本というのは少なすぎる。		
事業の課題と改善策	「防災・防犯」は安全・安心の基本であり、市民ニーズも高まっていると思われるので、会場・日時などをうまく調整して実施し、講座数の拡充等も検討すべきかと考えられる。一方で、地域の諸団体との連携や、自治会との連絡などもとりつつ、集客面なども考慮しながら実施していく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(6) 日野市をふる里として生きていけるような、 地域の伝統と文化の理解を深める事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼】 65,000円
【目的】 自分の住んでいるまちを「ふる里」と呼べるようなまちづくりをめざした事業を展開することを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「季節を楽しむ和の伝統行事～お月見編」「洋画家小島善太郎を学ぶ～善太郎の魅力と梅の百草画荘を訪ねて」「近代化における日野人のチャレンジ精神を学ぶ」の3講座を実施した。 【内訳】成人事業2、ひの市民大学1		延べ参加人数	159人
事業の成果	日野市をあらためて「ふる里」と意識することにつながる3つの講座を開催した。近代化において日野がどうであったかを「煉瓦」や「養蚕」を通じて考える講座をはじめ、他課とも協力して、参加者があらためて日野とや、伝統行事について学びあう場となった。		
公民館運営審議会の意見	○「季節を楽しむ和の伝統行事～お月見編」「洋画家小島善太郎を学ぶ」「近代化における日野人のチャレンジ精神を学ぶ」は、郷土理解の助けとなった。 ○持続可能なふる里・日野市のため、移住者に支援を期待できる環境づくり、そのための事業展開が必要。 ○講座の数も参加者数もまだ少ないと思う。 ○「日野市ウォーキングマップ」のコースをたどり、地域の歴史、文化を目と耳で身に付けられる講座があるとよい。 ○日野市のよいところをこれからの時代を担う子どもたちに伝承していきたい。(学区域ごとなど) 伝統行事や、地域ごとの歴史などが学べたらよい。		
事業の課題と改善策	地域の伝統と文化の理解を図る講座はバラエティに富んだ内容で実施できた。一方、子どもや若い年代に伝えていく講座にも今後とりくみを進める。これからも地域の人材に講師等として活躍いただくなど、地域に根ざした講座の企画に取り組んでいきたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(7) 市民が日野市に新しい文化を育むような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼ほか】 1,441,000円
【目的】 地域に生きる市民の文化を、自ら発信できるような意識・気運を醸成することを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「レインボープロジェクト・ビニール傘アートでアートフェスティバルへ出展しよう」のほか、「村山七段と多面差し」(公民館まつり前夜祭)など5つのバラエティサロン、「秋フェス」「公民館まつり」「ひのアートフェスティバル」「分室まつり」の3つのイベントを実施した。 【内訳】成人事業1、バラエティサロン5、イベント3		延べ参加人数	9,529人
事業の成果	さまざまなジャンルの音楽や芸術・文化に触れたり、落語や語りを含む多彩なステージを楽しんでいただけのバラエティサロンを実施した。 また、イベントでは公民館まつり・ひのアートフェスティバル・分室まつりを開催し、アートフェスティバルへの出展を目指して作品を作る講座も実施した。 *イベント来場者 公民館まつり3,000名、ひのアートフェスティバル5,900名、分室まつり450名		
公民館運営審議会の意見	○多くの事業があり、ある程度の成果があがっていると思うが、「公民館まつり」「アートフェスティバル」等が以前に比べると、活気がなくなったような気がする。 ○「公民館まつり」、「アートフェスティバル」などは市民のつながり、公民館への認知度向上に貢献しており評価できるが、全イベントの年間計画が事前に一覧できるガイド・パンフレット作成など、さらに成果を上げるために新たな工夫・検討は必要である。 ○NHK全国学校音楽コンクール(小学校の部)で5年連続合唱日本一となった七生緑小合唱部をはじめ、市内の若手の音楽家たちの演奏の場などを設けてほしい。 ○音楽以外でも芸術家のたまごたちの活躍の場を増やしてほしい。 ○「公民館まつり」は大学生や近くの児童館や小、中学生も参加できるような工夫があると、さらに盛り上がると思う。		
事業の課題と改善策	「バラエティサロン」「公民館まつり」などはおおむね順調に進んでいるが、新たな取り組みやPRなどが求められる時期にあるかもしれない。中央公民館の音楽サークルで実施した「秋フェス」は、初めての開催にも関わらず一定の参加を得た。今後のサークル交流のあり方へのヒントと受け止めて、次の取り組みにつなげたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(8) 憲法や平和・民主主義を地域にいかせるような 事業の展開を図る。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 314,000円
【目的】 地域や暮らしと結びついた憲法学習・平和学習を展開し、その学びが地域や 日常生活に生きるような事業を展開することを目的とする。 【29年度に実施した講座・事業】 「若者たちで考えるまちづくり」「民主主義と憲法～いま憲法を考える」など 2つの講座、委託事業として「平和事業」を実施した。 【内訳】 成人事業2、委託事業1		延べ参 加人数	247人
事業の成果	「若者たちで考えるまちづくり」は、昨年の「18歳選挙権」をテーマにした講座に続いて若い世代と もに考える講座として成果を上げた。また、「民主主義と憲法」では、憲法学者ではない別のジャンルか ら新たに講師を招いたり、座学以外に対談形式を導入するなど、新しい視点を盛り込んだ内容になった。 例年、実行委員会による委託事業として行っている平和事業は、今年度も諸団体の協力によって、音楽や 映画などを盛り込んだプログラムで実施した。		
公民館運営審議会の意見	○若い世代に興味をもって参加してもらうには、映像を取り入れるとか工夫しないと難しいと思う。 ○「若者たちで考える“まちづくり”」講座には、ゼミ方式や、アクティブ・ラーニング方式を採用し、 その結果を発表する場を設けて欲しい。この講座は中・長期的に継続すべきである。 ○若い世代を対象にした講座はあまり専門的すぎず、気軽に入っていけるようなものを。 ○「若者たちで考える“まちづくり”」は引き続き行い、若い世代に憲法の関心を持ち参加意欲がわくよ うな工夫が必要であると思う。 ○地味な分野だが、公民館の設立の趣旨を考えれば、公民館のレゾナードル（存在理由）といえる分野 である。「民主主義と憲法」は、タイムリーな企画だった。		
事業の課題と改善策	平和と民主主義・憲法などについてここ数年、若い世代がともに考える場を広げる試みを行ってきたが、 これからも新しい方向を模索しながら、関係諸団体との連携も図りつつ、憲法・平和・民主主義に関わる 講座の企画・運営についてはしっかりと進めていきたい。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(9) 地域社会を活性化させる担い手となる リーダーの育成を推進するような事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 143,000円
【目的】 地域の活性化やサークル活動の担い手となるリーダー育成を推進することを目的とする。		延べ参加人数	171人
【29年度に実施した講座・事業】 ひの市民大学開講式・開校記念講演「鉄腕アトムと地域を元気に～地域活性化とキャラクターデザインの役割」「人生を豊かにする過ごし方」(地域デビュー応援講座)のほか「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」を実施した。			
【内訳】成人事業1、高齢者事業1、ひの市民大学1			
事業の成果	ひの市民大学の開校記念講演では、「地域通貨」をとりあげた。地域活性化のヒントにつながる内容だった。また、ここ数年実施してきた「地域デビュー応援講座」では今回、自ら地域デビューに奮闘している新聞記者や、各地の地域デビュー実践に詳しいアドバイザーなどを講師に開催し、ここ数年で一番の参加者数に達した。 公民館について考える講座は近年久しぶりではあったが、講師の帝京大学・丹間先生による分かりやすい講義や、ワールド・カフェ方式によるワークショップなどはおおむね好評であり、今後につながるものとなった。		
公民館運営審議会の意見	○何のリーダーを育成したいのかを明確にし、的を絞って育成する必要がある。 ○「人生を豊かにする過ごし方」(地域デビュー応援講座)は学習効果を活かせる講座という点から評価したい。 ○人口減・超高齢化等の条件下での成熟社会において、行政への市民参画の人材育成を支援して欲しい。 ○「人生を豊かにする過ごし方」「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」は、継続的に実施してほしい。 ○「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」は、大学との連携をとり、分かりやすい講義やワールド・カフェ方式はとても好評だった。今後もこのような講座も続けて欲しい。 ○若手や壮年の中からリーダーが出てこなければ、公民館の未来は暗いと思う。		
事業の課題と改善策	例年の地域デビュー応援講座の流れの上で実施した「人生を豊かにする過ごし方」には、ここ数年で一番の参加があった。一方、公民館について学ぶことを前面に打ち出した「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」にも一定の参加者があった。これらを受けて、講座に参加された方々が、次に地域で「行動する」ために何が必要か、必要なフォローも含めて、プログラムの工夫が求められるところである。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	基本施策(10) 地域や日野市民の生活に根ざした 諸問題を取り上げた事業を展開する。		
事業の概要		経費	【謝礼・委託】 284,000円
【目的】 地域や日常生活から課題を取り上げて、ともに考えたり、話し合ったりすることで、学びを共有し新たな指標をみつける機会とする。		延べ参加人数	163人
【29年度に実施した講座・事業】 「家族のカタチは今～「家族」を学んでみませんか」「恋愛・結婚・パートナーシップ～みんなはどう思う?」「生きづらい世の中を考える」など、生き方を考える生活課題の講座を中心に5講座を実施。 地域課題では「世代間交流プロジェクト～高幡台分室で歌って・遊んで・おやつをつくろう」が、今年三年目の世代間交流事業としてあげられるが、そのほかにも模索してきたものの実現しなかったものもあり、次年度への課題として残った。			
【内訳】 成人事業4、高齢者事業1			
事業の成果			
「生き方を考える」内容の講座は定員に対する申し込み人数は必ずしも十分でないが、参加者の反応はおおむね好評で、引き続いての開催を望む声も目立つ。「地域課題」については今年度検討した内容を次年度につなぎ、さらに前向きに取り組んでいく必要がある。			
公民館運営審議会の意見			
○さまざまな組織（自治会、子供会、老人会・・・）で「後継者を育て、いかに組織を存続させていくか」が大きな問題として取り上げられている。これらの地域課題への解決策の一助となる講座がほしい。 ○トレンディなテーマを取り上げた講座は評価できる。 ○「地域課題」については、確固たる「現状把握」ができてこそ、先に進めるものであり、また、公民館と「地域課題」とのつながりについて、一般市民の認識は低いと思われるので、この施策の推進には再検討が必要。 ○「子どもの貧困」などの日常生活における深刻な課題について「学び」「つながり」「行動する」を常にセットで対応する講座・事業の展開が必須ではないか。 ○「世代間交流プロジェクト」は今後、他の課などの連携をとりながら工夫して欲しい。			
事業の課題と改善策			
地域の人々の生活課題や諸問題の把握もさることながら、テーマは広く難しい分野ではある。まずはテーマごと、地域ごとに、自由に話し合える場づくりをすすめることが必要と言えるのではないかと。試行錯誤を重ねることになっても、これからの公民館のあり方を決める重要な分野であると考えて、引き続き取り組んでいく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	(1) 地域に根付いた学習活動の充実 ・地域偏在の解消と地域の特色を活かした公民館事業の検討 ※施策(10)について重点的に取り組む
事業の概要	地域偏在の解消として、市内他施設（交流センター等）に会場設定をした事業展開を図る。 また、地域ごとの課題にテーマを求めた講座・事業に取り組む。 あわせて「生活課題」をテーマに掲げた講座を積極的に開催する。
事業の成果	施策10について、「生活課題」をテーマにした講座の件数は昨年よりも増えたといえるが、「地域課題」にテーマを求めた講座や、地域の特色を前面に出した取り組みという点では、今後課題を残したともいえる。 一方、会場を中央公民館(中央福祉センター含む)、高幡台分室以外を含んで開催する事業が、全体の講座件数の約4割を超えており、地域偏在の解消には努めた。
公民館運営審議会の意見	○地域団体等の要望に応える形で、地域の施設や地区センター等を利用して出前講座を実施して欲しい。 ○公民館は「学ぶ」より「行動する」視点に重点を置き、市民の地域デビューを支援すべきだと思う。 ○中高生から大人が学ぶという逆の発想を提案したい。 ○無報酬ボランティアの地域デビューの輩出が、成熟社会に向かって今後の公民館活動の課題ではないか。 ○他の課や施設との連携をとることがとても重要だと思う。 ○会場を中央公民館(中央福祉センター含む)、高幡台分室以外を含んで開催する事業が、全講座件数の約4割を超え、地域偏在の解消に努めたというが、そのほとんどは中央線側の施設であり、浅川以南は少なかった。 ○地域偏在の解消や地域の特色を活かした公民館事業を重点目標にした点は評価したいし、継続してほしい。 ○地域にどのような課題があるのか、それをどのようにつかむのか等の方法を研究してほしい。 ○地域人材の発掘が課題である。
事業の課題と改善策	「地域の課題を把握する」「地域の特色を生かす」「地域の人材を発掘する」・・・という課題にどう公民館らしく取り組みを進めるのか、必要に応じて他課や地域団体と連携を図り、他市の公民館の優れた実践などにも学びつつ、進めていくことが求められる。地域偏在の解消には引き続き努力する。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	(2) 子ども、若者を対象とした事業の拡充 ・学びや体験の機会の提供 ・大学連携による学びの場の創造
事業の概要	子どもや若者がもっと公民館に集まるきっかけとなるような講座・事業を積極的に進める。 あわせて近隣の大学、ゼミ、ボランティアセンターなどと連携し、新たな事業展開を図る。
事業の成果	子ども、若者を対象にした事業では、囲碁・将棋などを新設した青少年事業10（委託事業のシェフコンを含む）のほか、「若者たちで考えるまちづくり」など、若い世代の学び機会の拡充を図った。 また、帝京大学・丹間ゼミとは公民館まつりでのアンケート以降、連携して、現在に至っている。
公民館運営審議会の意見	○帝京大学・丹間ゼミとの連携は評価できるし、学生の新しい発想には期待する。 ○持続可能な公民館活動のために大人の役割が重要である。 ○子どもの講座・事業は多世代交流を基本とし、大人が役割を学ぶのがよい。 ○「昔遊び体験講座」により高齢者と子どもの繋がりを深めるとともに、地域の伝統文化の一端を学んでもらったらどうか。 ○公民館を「学び」主体から「つながり」「行動する」を加味するためゼミ方式、アクティブ・ラーニング方式等の導入を徐々に進めて欲しい。 ○子どもを対象とした「囲碁・将棋」や、「若者たちで考えるまちづくり」「話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち」等は、学社連携を図る上においても大切である。今後も大学との連携を大切にして、子ども、若者を対象とした事業の発展を期待する。
事業の課題と改善策	大学連携や「囲碁・将棋」をはじめとする青少年対象事業の拡充に取り組んできたことで、ある程度は若い世代の「学び」のすそ野が広がったと思われる。が、それが他の世代と「つながり」「行動する」までには、さらに意識的な取り組みが必要と思われる。参加する若い世代がそれぞれに、公民館に対する「居場所意識」を感じるようになれば、若者の利用も向上していくと思われるので、今後そのためにこういった条件整備が必要かも考えていきたい。

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

事業項目	(3) 談話室を活かした情報発信のしくみづくり
事業の概要	「新しいことが生まれるみんなの居場所」と位置づけた中央公民館・談話室を、ふらっといつでも立ち寄れる場所、そこにいけば何かが見つかる場所・・・になるよう、具体的な仕掛けや設備の工夫などを進める。
事業の成果	談話室を活かした情報発信としては「ゆる・カフェ・時間」などを定期的を開催し、児童館やボランティアセンターなどの職員との連絡会である「ご近所会議」を軸にして、具体的な取り組みが定着しつつある。また、談話室のレイアウトや備品を工夫することで、立ち寄りたくなる雰囲気づくりも進んだ。
公民館運営審議会の意見	○談話室は型にはまらない、肩の凝らない誰でも軽い気持ちで参加出来る憩いの場であって欲しい。 ○中庭の整備も進め、談話室と一体化したレイアウト作りが必要。 ○市民による月1回ぐらいの談話室運営を。 ○談話室のような居場所はまずは中央から、そして分室、各地域へと徐々に広がっていくとよい。 ○「ご近所会議」は、横断的な企画や事業を行う上で大切な試みだ。具体的な取り組みが定着しつつあるとしているが、その内容を積極的に発信してほしい。
事業の課題と改善策	中央公民館では「ゆる・カフェ・時間」などを定期的で開催してきたことで、「居場所」としての談話室の認知度は高まった。また、近隣部署との連絡も「ご近所会議」を軸に深まった。一方で、情報発信の拠点としては、談話室の現状はまだ十分とは言えないのではないか。提案のあった月1回程度の市民主体の運営日なども含めて、利用者全体でこれからの運営のありかたを一緒に考えていくことも必要と思われる。また、高幡台分室における談話室のあり方についても、今後検討を進める。

公民館事業のあらまし

(「平成29年度社会教育のあらまし」からの抜粋)

公民館主催事業

公民館主催事業(講座・教室など)を事業分類ごとに紹介。

① 成 人 事 業

ア. バラエティサロン

地域の中で気軽に“質の高い文化”に親しめる場として位置付け、音楽の演奏会等を開催する。

回	開催日	内 容	出 演	会 場	参加人数
279	5月19日	プロ棋士・村山慈明七段が公民館にやってくる～子どもたちと多面指し	村山 慈明	中央公民館	63
280	12月9日	ギターとボーカルで奏でる～癒しのボサノヴァ	蓮見 昭夫 ほか	Kichen & Café カナン	42
281	1月6日	新春初笑い寄席	林家 彦丸	中央公民館	65
282	2月17日	ストーリーテラーやえちゃんの絵本と語りのおはなし会	八重幡 典子	中央公民館	34
283	3月21日	クラリネットの玉手箱～ソプラノで奏でる春のハーモニー	アリマッキーカルテット ほか	新町交流センター	30

イ. 映画会

名画と呼ばれる作品を取り上げて上映し、その時代背景、製作過程、監督、俳優などについて考察する。午前10時からと午後1時30分からの2回上映した(281回は1回上映)。上映会場は中央公民館で6回、多摩平の森ふれあい館で1回。

回	開催日	作 品	監 督	出 演	参加人数
279	4月21日 (中央公民館)	キューポラのある街	浦山 桐郎	吉永小百合ほか	38
280	7月22日 (中央公民館)	裸の大將放浪記	山田 典吾	芦屋雁之助ほか	44
281	8月5日 (平和事業、 多摩平の森 ふれあい館)	せんせい	大沢 豊	五十嵐めぐみ ほか	22
282	8月26日 (中央公民館)	警察日記	久松 静児	森繁 久彌 ほか	40
283	11月10日 (中央公民館)	ワールドトレードセン ター	オリバー・ストー ン	ニコラス・ケイジ	23
284	12月24日 (中央公民館)	ミッキーマウスのメリ ークリスマス ほか	ディズニー・プロ	アニメーション	54
285	3月4日 (中央公民館)	四万十川	恩地 日出夫	樋口可南子 ほか	64

ウ.ぱそこんくらぶIN高幡台分室

開催日	4月7日～3月16日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全20回
内容他	原則として毎月第1・第3金曜日の午前に開催。みんなで楽しくパソコンを学べて交流できる場として定着しはじめている。
講 師	松村 良
参加人数	延べ231人

エ.陶芸入門

開催日	5月9日～7月12日
会 場	中央公民館
開催回数	全10回
内容他	趣味を持ちたい、地域の人々と関わりたいという人のために、陶芸制作を通じた交流を図った。
講 師	田宮 義寛

参加延べ 人数	延べ70人
------------	-------

オ. 楽しい農業体験 親子でスイカを作ろう

開催日	5月13日～8月26日
会 場	南平耕作地 ほか
開催回数	全5回
内容他	南平の耕作地で、スイカの植え付けから収穫までを親子で実体験をした。
講 師	濱田 豊ほか
参加延べ 人数	延べ144人

カ. 日野音頭と日野パット節を踊ろう

開催日	5月21日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日野市舞踊連盟の指導により、公民館まつりにおいて、日野音頭などを踊り、交流を図ることができた。
講 師	日野市舞踊連盟
参加延べ 人数	延べ50人

キ. たった一度の人生自分らしく楽しく幸せに生きるには

開催日	6月7日～6月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全4回
内容他	人づきあいがうまくいかず、ストレスを覚える。誰しもが経験する悩みについて、心理学の視点から心の健康を図り、生きることの素晴らしさを学んだ。
講 師	早乙女 紀代美
参加人数	231人

ク. 若者たちで考える“まちづくり”

開催日	6月17日～12月2日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全6回

内容他	日野市の政策を知り、考えるワークショップにより若者たちが政治に関心をもつことができた。
講 師	NPO法人Youth Create
参加人数	65人

ケ. 親子で大豆を育てて豆腐を作ろう

開催日	7月29日～1月20日
会 場	南平耕作地・高幡台分室ほか
開催回数	全5回
内容他	南平の耕作地で、大豆の植え付けから収穫・豆腐作りまでを親子で実体験をした。
講 師	濱田 豊ほか
参加人数	65人

コ. ビニール傘アートでひのアートフェスティバルに出展しよう

開催日	8月6日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	日用品であるビニール傘が工夫することでアートになることを学び、ひのアートフェスティバルに参加し、アートを体感することができた。
講 師	中村 由紀子ほか
参加人数	8人

サ. NHK特別展「深海2017」～最深研究でせまる“生命”と“地球”～関連文化講演

開催日	8月26日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全1回
内容他	地球最後のフロンティアと呼ばれる「深海」について識者から学んだ。 (国立科学博物館関連講座)
講 師	藤倉 克則
参加人数	54人

シ. 国際理解講座「日本人なら知るべき国 スリランカ民主社会主義共和国」

開催日	9月10日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	親日国でありながら、意外と知られていないスリランカ民主社会主義共和国。その歴史的な日本とのつながりや、現在日本政府が行っている援助の内容等を聞いた。

講 師	カハンダ コララゲ マリニ
参加人数	49人

ス. いい汗かこう！体にいいもの食べよう！

開催日	9月16日・9月30日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	生活の中で疲れの溜まった身体を健康リズム体操と呼吸法でメンテナンスする方法を学んだ。
講 師	武田 端
参加人数	43人

セ. パソコン講座(中級者向け)「パワーポイント入門」

開催日	9月17日・9月24日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	プレゼンテーションソフトの基本操作を学んだ。
講 師	松村 良
参加人数	26人

ソ. 家族のカタチは今～「家族」を学んでみませんか

開催日	9月24日～10月8日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	社会の変化とともに、求められるものも変化していく現代における家族のあり方について識者、市民団体の話を聞き、あわせてこれからの家族のカタチを考える機会とした。
講 師	黒須 里美ほか
参加人数	47人

タ. 大人の理科室～生き物万歳

開催日	9月30日～11月11日
会 場	カワセミハウスほか
開催回数	全3回
内容他	大人が、物事を探求する「科学」の心を取りもどす講座(地理学、建築理論、ロボット工学)。親子で参加する仕掛けにより、子どもの探求心も育てることができた。

講 師	津吹 卓ほか
参加人数	60人

チ. 大人の理科室～テクノ～

開催日	10月7日～11月18日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全3回
内容他	大人が、物事を探求する「科学」の心を取りもどす講座(昆虫学、植物学、動物学)。親子で参加する仕掛けにより、子どもの探求心も育てることができた。
講 師	村山 孝一ほか
参加人数	46人

ツ. 季節を楽しむ和の伝統行事

開催日	10月4日
会 場	石坂ファーム
開催回数	全1回
内容他	日野産の米粉を使用してのお団子づくり、ススキを使いながら、市内農家の方からお月見の話を聞き、伝統文化を学んだ。
講 師	石坂 昌子
参加人数	14人

テ. 恋愛・結婚・パートナーシップ～みんなはどう思う～

開催日	10月22日・11月4日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回
内容他	結婚に関する意識調査など、講師が提供する題材をもとに、グループディスカッションを行い、参加者に自分自身の恋愛観、結婚観や人生観を見つめなおす機会を提供した。
講 師	児美川 孝一郎 三田地 真実
参加人数	15人

ト. 月に一度は郷土鍋

開催日	10月27日～3月23日
会 場	中央公民館
開催回数	全6回
内容他	日本全国の郷土鍋を実際に作り、参加者同士で試食することで、故郷への興味と新しいコミュニケーションが生まれた。

講 師	鈴木 翔子
参加人数	111人

ナ.「婚活」の誕生から10年～未婚の男女はなぜ増えたのか～

開催日	11月11日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全1回
内容他	未婚率の上昇の経緯と原因、社会情勢との因果関係、経済的格差の問題などの社会的な背景を講師が解説。若者や青年層が置かれている状況や、今後の社会のありかたについて学んだ。
講 師	山田 昌弘
参加人数	32人

二. LGBT入門講座～自分らしく生きられる社会へ

開催日	12月2日・12月9日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回
内容他	昨年に引き続き、開講。多摩地域のLGBT施策についての状況を知り、また、ジェンダーニュートラルな子育て等について学び、より多角的にLGBTについて理解を深めた。
講 師	虹色とんちー ほか
参加人数	24人

ヌ. 楽しく学ぼう！手話と点字を学びましょう！

開催日	2月2日～3月9日
会 場	中央公民館
開催回数	全5回
内容他	障害者差別解消法が施行され、手話や点字が身近なものになる中で、障害者とのコミュニケーションの理解を深めるために、その方法を学んだ。
講 師	堀場 照美ほか
参加人数	74人

ネ. 日野から見える山並みを楽しむ

開催日	2月10日・2月17日
会 場	中央福祉センター及び市内探索
開催回数	全2回

内容他	富士山をはじめ、市内から見える山々の名前や由来を学び散策することにより、日野市に住む喜びを感じ、ふるさと愛を深めた。
講 師	藤本 一美
参加人数	52人

ノ. パソコン講座「実用ワード・エクセル」

開催日	2月17日・2月14日・3月3日・3月10日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全4回
内容他	ワードで長文のレポートを作成するときに必要な機能を学んだ。エクセルのテーブル機能と論理関数を学んだ。
講 師	松村 良
参加人数	36人

ハ. 洋画家小島善太郎を学ぶ～善太郎の魅力と梅の百草画荘を訪ねて～

開催日	2月23日・2月27日
会 場	中央公民館ほか
開催回数	全2回
内容他	昭和の洋画壇に新風を招き、晩年を百草で過ごした洋画家小島氏の絵に磨かれた魂とその生涯についての講演会。
講 師	川俣 高人 小島 敦子
参加人数	70人

ヒ. 国際理解講座「意外な驚きと魅力ある国 ジンバブエ共和国」

開催日	2月25日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	驚きと魅力ある国、ジンバブエ共和国の実情を、元青年海外協力隊員として現地に赴任した講師の話を聞いた。
講 師	木下 知美
参加人数	45人

フ. 話し合おう！考えよう！これからの公民館を～公民館の新たな可能性と交流のかたち

開催日	3月3日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回

内容他	公民館がこういった役割を持つ施設として生まれ、どのような歴史を重ね、現在につながっているのかを参加者とともに考え、社会の変化の中で、これからの公民館が持つ新たな可能性や交流のビジョンを思い描くことができた。
講 師	丹間 康仁
参加人数	28人

へ. 民主主義と憲法～いま憲法を考える

開催日	3月4日・3月11日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	日本国憲法の待つ意味と意義及び多数決の功罪を、それぞれの識者から学んだ。
講 師	小森 陽一 原田 謙介 坂井 豊貴
参加人数	57人

ホ. おんがくで おでかけ！

開催日	3月4日・3月25日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	国立音楽大学リトミックサークルの学生を招き、障害を持った子供が、家庭で家族とともに音楽で楽しめる場づくりを学んだ。
講 師	国立音楽大学リトミックサークル
参加人数	22人

マ. マインドフルネス入門

開催日	3月17日・3月24日
会 場	多摩平交流センター
開催回数	全2回
内容他	近年、ストレスの軽減だけでなく、集中力アップや創造性を高める等の効果が期待されているマインドフルネス瞑想の理論と実践を学んだ。
講 師	近藤 育代
参加人数	31人

ミ. 熊本地震から学ぶ～もしも！いざ！地震がきたら～

開催日	3月17日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回

内容他	30年以内に大地震が来るといわれる首都圏。若者たちの防災ボランティアを推進させる方法などを熊本地震経験者に聞いた。
講 師	大島 唯司ほか
参加人数	28人

ム. 現代社会の生きづらさを考える

開催日	3月31日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	社会問題である、引きこもりを含めた「若者の生きづらさ」について、その発生の原因・社会背景とそれに対する対応、家族や周りの人の支援方法、また、その原因の要因となる発達障害について学んだ。
講 師	池上 正樹ほか
参加人数	45人

② 成人委託事業

ア. 外国人のための日本語教室＜委託事業＞

地域の中で外国人が生活していくために、必要な日本語を学ぶ場として始まった事業。市内に住む外国人同士や外国人と日本人の交流を通して相互理解を深め、異文化共生を実践する場となっている。

ア)委託先 日野国際友好クラブ

イ)委託料 381,000円

ウ)委託期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

エ)クラス 日本語能力レベルが同程度の学習者ごとに編成。一人の教師が1～3人の学習者を受け持つ。

コース		水曜日(午前)	水曜日(夜間)	金曜日(夜間)
時間		午前10時～正午	午後7時～9時	午後7時～9時
会場		中央公民館 中央福祉センター	七生福祉センター 公民館高幡台分室	中央公民館 中央福祉センター
回数		全39回	全39回	全37回
延べ 参加 人数	学習者	349	300	1090
	ボランティア	448	350	648

全115回 1,739人(学習者) 1,446人(ボランティア)

水曜日午前コースに保育あり。

オ)教材

「みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ」、補助教材として絵カードや聴解CD、市販のテキスト、新聞など

カ) 課外授業・行事

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月20日	バーベキューパーティ	ふれあい橋	50
10月22日	ボウリング大会	SAP日野	24
12月17日	イヤーエンドパーティ	中央福祉センター	110
3月11日	修了式・日本語スピーチ大会	中央公民館	55

延べ参加人数人 239

※イヤーエンド・パーティではお互いの国の文化等を披露しあい、修了式では日本語スピーチ大会を行い、楽しみながら交流を深めている。

イ. 田んぼの学校＜委託事業＞

農体験、その他の活動を通じて、自然に親しみ、そこで暮らす生物との繋がり、得られた大地の恵みを享受しながら、生きる・学ぶ・触れ合う・育てる力を学ぶとともに、環境問題も含め、自然と人との共存、人と人との関わり・繋がり場としている。

ア) 委託先 田んぼの学校運営委員会 代表 松本 保

イ) 委託料 224,000円

ウ) 委託期間 平成29年4月8日～平成30年3月31日

エ) 内容ほか

会場	新町水田・南平水田・中央公民館
内容他	種まきから刈り取りまで、季節を通して水田にかかわり、米作りの楽しさと自然の厳しさを学ぶ。12月2日の収穫祭には、もち米を使って餅をつき、食べ、収穫の喜びを分かち合った。
講 師	福島 久夫 和田 菊代 和田 昇治 田中 実 阿川 良一 鈴木 秀一
参加人数	新町延べ参加人数 316人 南平延べ参加人数 454人 全15回 770人

ウ. 公民館平和事業

日野市では8月を平和月間として、事業を展開した。公民館では、映画、公演をとおして、平和の大切さを考える場とした。

ア) 委託先 公民館平和事業実行委員会 代表 村上 敏雄

イ) 委託料 150,000円

ウ) 委託期間 平成29年6月30日～平成29年8月31日

エ) 内容ほか

会場	多摩平交流センター
----	-----------

日時	8月5日(土)
内容他	第1部 映画「せんせい」 第2部 平和公演「8月に何があった ～次の世代に伝える戦争と平和」
講師・出演	星槎国際高等学校生徒・卒業生 茂呂薫子 内藤和美、 朗読サークルのんど会・朗読サークル「うづき」、混声合唱団コーロ ファミリーア、チューリップツリーほか
観覧者	125人

③ 高齢者事業

ア. 程久保うたごえパーク

開催日	4月8日～3月10日
会場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全10回
内容他	皆で集い楽器の伴奏に合わせて大きな声で歌うことで、家にこもりがちな方がストレス解消・リフレッシュをするとともに、仲間づくり・生きがいづくりの場を提供した。
講師	樋口 周子ほか
参加人数	延べ203人

イ. 朗読サロン

開催日	4月20日～2月4日
会場	中央公民館高幡台分室ほか
開催回数	全7回
内容他	公民館で活動をしている朗読サークルへ“発表の場を提供する”ことと同時に、小さな文字を読むのが段々と敬遠しがちな高齢者を対象に、名作を朗読で楽しんでもらい、参加者同士の交流を図ることができた。
講師	朗読の会「うづき」、「日野にじの会」、「のんど会」
参加人数	延べ242人

ウ. シニア世代からの食と栄養を考える・実践編

開催日	6月29日・7月6日
会場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	高齢期の心身の状況を踏まえた食生活のあり方について、調理実習も交えて実践的に学んだ。
講師	平島 和男(公益財団法人すこやか食生活協会)ほか
参加人数	延べ26人

エ. 世代間交流プロジェクト～高幡台分室で歌って・遊んで・おやつをつくろう～

開催日	12月3日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回
内容他	市民講師の指導のもと、弦楽伴奏で歌ったり、パズルで楽しんだりして地域の大人・高齢者と小学生との交流を図った。
講師	駒崎 琴美ほか
参加人数	24人

オ. ハーブのある暮らし

開催日	10月10日・10月17日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2回
内容他	日常にハーブを取り入れて、いそどりのある生活のしかたを学ぶ。ハーブの歴史などの基礎知識からさまざまな活用法までを学んだ。
講師	森川 京子(ハーブインストラクター)
参加人数	延べ17人

カ. 人生を豊かにする過ごし方

開催日	1月13日～2月10日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	地域で活躍の場や居場所を見つけるために、どうしたらいいかを一緒に考える講座。
講師	清水 孝幸(東京新聞記者)ほか
参加人数	延べ93人

キ. 初心者向けパソコン入門講座～パソコン使って生活を豊かに～

開催日	2月14日～3月7日
会 場	豊田駅北交流センター
開催回数	全4回
内容他	パソコン初心者を対象に、ワード・エクセルの使い方の基本的な事項とインターネットの使い方の初歩を学ぶ講座とした。
講師	シニアネットクラブ
参加人数	延べ60人

ク. 防犯講座～インターネット詐欺被害にあわないために～

開催日	3月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回

内容他	最近の特殊詐欺やインターネット詐欺の手口や、騙されてしまう心理について講師が解説した。あわせて、SNSやインターネットバンキング、ビットコインなどの基本的な仕組みについて学んだ。
講師	脇田 恒志(ITコンサルタント)
参加人数	26人

ケ. 押絵で作る花と干支

開催日	3月1日・3月15日
会 場	平山交流センター
開催回数	全2回
内容他	押絵の基礎を学び、作品のできあがる喜びを共有した。
講師	鈴木 鈴雅(押絵講師)
参加人数	延べ17人

④ 青少年事業

ア. 夏休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	8月2日・8月3日
会 場	中央公民館
開催回数	全2日
内容・講師	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ①スポーツ吹き矢に挑戦しよう！／小堤 吉寿 ②南極・北極について知ろう！／国立極地研究所 (2日目) ①自分でつくるおひるごはん／鈴木 直美 ②ペットボトルロケットを飛ばそう／日野自動車親和会
参加人数	延べ47人

イ. 夏休みが終わっちゃうよ！ペットボトルソーラーカーを作ろう

開催日	8月27日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全1回
内容他	夏休みの研究課題などに活かせるものづくり講座。異なる学年の子どもが、一緒に工作をしたことで、交流を図った。
講師	電機連合有志のみなさん
参加人数	25人

ウ. 夏休み 子ども囲碁・将棋入門講座(囲碁)

開催日	8月24日・8月29日
-----	-------------

会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	小・中・高校生の囲碁初心者を対象に、囲碁の面白さを学んだ。
講師	矢野 明
参加人数	延べ34人

エ. 夏休み 子ども囲碁・将棋入門講座(将棋)

開催日	8月23日・8月30日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	小・中・高校生の将棋初心者を対象に、将棋の面白さを学ぶ場とする。
講師	小川 良治
参加人数	延べ52人

オ. 宇宙の話を楽しく学ぼう

開催日	11月18日・11月25日
会 場	多摩平の森ふれあい館
開催回数	全2日(対象別コース)
内容他	宇宙論やブラックホールなどを話の切り口に、学びの奥深さ、面白さ、ひいては人間にとって学ぶとはどういうことなのかを学ぶ。
講師	小林 晋平(東京学芸大学准教授)
参加人数	延べ70人

カ. 子ども「囲碁・将棋サロン」(囲碁)

開催日	11月24日～3月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全10回
内容他	小・中学生の囲碁初心者を対象に、囲碁の基本と面白さを学んだ。
講師	近久 厳雄ほか
参加人数	延べ8人

キ. 子ども「囲碁・将棋サロン」(将棋)

開催日	11月8日～3月28日
会 場	中央公民館
開催回数	全10回
内容他	小・中学生の将棋初心者を対象に、将棋の面白さを学ぶ場とする。
講師	小俣 義光

参加人数	延べ98人
------	-------

ク. 春休み小学生集まれ！わくわく学習術

開催日	3月28日・3月29日
会 場	中央公民館高幡台分室
開催回数	全2日
内容	学校の授業とは異なった視点・方法で、楽しみながら出来る学習を実施し、さまざまなプログラムを展開した。 (1日目) ① 極の料理研究「だしが決め手！」 ② 「光と色」の不思議を体験してみよう
講師	① 福岡 ひとみ ② 東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST
内容	(2日目) ① ヒップホップダンス」に挑戦しよう ② 「小さなお庭」とまちづくり
講師	① 宮西 藍ほか ② 佐々木 智子
参加人数	延べ40人

ケ. 子ども「囲碁・将棋道場」(囲碁)

開催日	3月18日・3月25日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	小・中学生の囲碁初心者を対象に、囲碁の基本と面白さを学んだ。
講師	矢野 明ほか
参加人数	延べ5人

コ. 子ども「囲碁・将棋道場」(将棋)

開催日	3月18日・3月25日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	小・中学生の将棋初心者を対象に、将棋の面白さを学ぶ場とする。
講師	小俣 義光
参加人数	延べ25人

サ. プロ棋士村山慈明七段が公民館にやってくる～子どもたちと多面指し

開催日	3月27日
会 場	中央公民館

開催回数	全1回
内容他	日野市出身の村山七段をお招きし、参加者との多面指しを行う。
講師	村山 慈明
参加人数	45人

シ. カーデザイン教室

開催日	3月30日
会 場	日野自動車
開催回数	全1回
内容他	日野自動車のデザインのプロから学び、未来のクルマをつくろう。
講師	折原 利明(日野自動車株式会社デザイン部)
参加人数	15人

⑤ 青少年委託事業 ひのっ子シェフコンテスト

1 事業の目的

子どもが食べることや食材の大切さを感じることで、食への関心を高め心身共に健康な子どもを育てることを目的とする。また、これに伴い多くの市民にも食の大切さを伝える。

2 事業の概要

子どもによる料理コンテストを実施し、最優秀賞、優秀賞、敢闘賞、努力賞、特別賞を決定する。

【対 象】 市内の小学校に通う小学4年生から6年生の個人若しくはグループ

【料理の条件】日野産野菜を活用(旬の食材)したメニューを、90分以内で4人分を調理する。(予算1,000円以内)

【審査方法】(1)地場野菜(日野産)の使用度

(2)オリジナリティ(アイデアや工夫)

(3)味

(4)見た目

(5)手際の良さ

【審 査 員】・審査委員長 鈴木 章生(服部栄養専門学校教授)

・ひのっ子シェフコンテスト実行委員会委員長

白尾 美佳(実践女子大学教授)

・日野市長 大坪 冬彦

・教育委員長 西田 敦子

・児童審査員(書類審査で落選した児童から選出2~3人)

【運 営】ひのっ子シェフコンテスト実行委員会に委託(事業の企画・運営)して行う。

3 事業の成果

◎第11回ひのっ子シェフコンテスト

- ・本選実施日 = 11月19日(日)
- ・会 場 = 日野第一中学校
- ・応募数 = 19チーム(37名)
- ・本選出場数 = 6チーム(16名)
- ・周知方法 = 7月に案内を市内小学校へ配布
- ・コンテスト結果
 - 最優秀賞メニュー ひのっ子くるくるロールまき♪(豊田小5年生)
 - 優秀賞メニュー ひのっ子バーガー(日野六小6年生)
 - 栄養士と調理員が選んだ特別賞メニュー・敢闘賞メニュー
カレーなるカラフルあんかけチーズ春巻!(南平小6年生)

4 平成29年度の取り組み

- (1)調理中の様子を生中継し、会場に入ることのできない保護者などが別室で見ることができるようにした。
- (2)「栄養士と調理員が選んだ特別賞メニュー」を設けて、平成29年度中に市内各小・中学校で給食メニューとして取り入れた。栄養士会や給食調理員(学校課)の発案により実現した事業であるため、公民館と学校との連携が深まった。
- (3)給食調理員による給食パネル展を行った。
- (4)調理時間中、健康課栄養士から参加の児童や保護者等に向けて「野菜350」(野菜を1日350g食べよう)についてPRを行い、食育についての意識を高めた。

⑥ひの市民大学

講座の企画・運営の検討から市民とともに行う「ひの市民大学」は、「いつでも どこでも だれもが学べる場」をキャッチフレーズにして平成11年5月に開校した。

ア 開講式・記念講演

「鉄腕アトムと地域を元気に～地域活性とキャラクターデザインの役割」

開催日	4月22日
会 場	市民会館小ホール(煉瓦ホール)
開催回数	全1回
内容他	① 学長(市長)あいさつ ② 記念講演
講師	石渡 正人(株式会社手塚プロダクション)
参加人数	50人

イ ハーブ王子と摘む野草でつくる塩焼きそば

開催日	5月13日・6月10日
会 場	市民の森ふれあいホール

開催回数	全2回(1回ごとの講座)
内容他	市内の野草を摘んで塩焼きそばを調理、会食する。
講師	山下 智道(野草研究家)
参加人数	延べ19人

ウ 魅惑の西洋近代美術史Ⅱ

開催日	5月24日～6月21日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全4回
内容他	①ダヴィッドとアングル～新古典主義の巨匠 ②ドラクロワ～ロマン主義絵画の旗手 ③ミレー～バルビゾンの大地 ④クールベ～天使は描かない
講師	斉藤 陽一(元NHK制作プロデューサー)
参加人数	延べ202人

エ 地図でたどる多摩の鉄道と街

開催日	6月8日～6月22日
会 場	中央公民館
開催回数	全3回
内容他	①鉄道の黎明期～甲武・川越・青梅鉄道の登場 ②大発展期の鉄道―大正～昭和 戦前の鉄道競争時代 ③戦後の鉄道―ニュータウン新線からモノレールへ
講師	今尾 恵介(地図研究家)
参加人数	延べ151人

オ プラスチックリサイクルの基礎知識

開催日	7月15日
会 場	中央公民館
開催回数	全1回
内容他	身の回りのプラスチックとそのリサイクルについて学ぶ。
講師	(社)プラスチック循環利用協会
参加人数	15人

カ 中高年から始めるらくらくピアノ

開催日	9月2日～9月16日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	中高年で楽譜が読めない方でもピアノが弾けるように学ぶ。
講師	原嶋 由利(社団法人全日本らくらくピアノ協会認定講師)
参加人数	延べ52人

キ 生誕150年に読み直す夏目漱石(前期)

開催日	9月23日・30日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	①漱石と五つの戦争 ②漱石と大英帝国
講師	小森 陽一(東京大学大学院教授)
参加人数	延べ106人

ク 幕末の江川代官と日野(多摩)

開催日	10月13日・20日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全2回
内容他	①多摩地域と韮山県 ②江川英龍と農兵建議
講師	橋本 敬之(公益財団法人江川文庫学芸員)
参加人数	延べ105人

ケ 近代化における日野人のチャレンジ精神を学ぶ～日野の産業革命

開催日	12月1日～12月15日
会 場	PlanT・市民の森ふれあいホールほか
開催回数	全3回
内容他	①対談「煉瓦とビールのロマン～TOYODAビールな夜を」 ②日野煉瓦について(座学&散策) ③日野の養蚕と桑ハウス(座学&見学)
講師	石川 彌八郎(石川酒造社長)ほか
参加人数	延べ95人

コ ボブディランとアメリカ文化

開催日	2月2日～2月16日
会 場	市民の森ふれあいホール
開催回数	全3回
内容他	2016年ノーベル文学賞を受賞したボブディランの歌と詩を学ぶ。
講師	飯野 友幸(上智大学文学部・英文学科教授)
参加人数	延べ144人

サ 生誕150年に読み直す夏目漱石(後期)

開催日	1月20日・2月17日
会 場	中央福祉センター
開催回数	全2回
内容他	①漱石の小説における恋愛と結婚 ②漱石の美術世界
講師	小森 陽一(東京大学大学院教授)

参加人数	延べ99人
------	-------

シ あなたの知らない「多摩動物公園」

開催日	3月20日
会 場	多摩動物公園
開催回数	全1回
内容他	多摩動物公園の知られざる一面を学ぶ
講師	多摩動物公園動物解説員
参加人数	25人

ス 享徳の乱&応仁の乱

開催日	3月2日・9日
会 場	中央公民館
開催回数	全2回
内容他	①享徳の乱 ②応仁の乱
講師	峰岸 純夫(東京都立大学名誉教授)
参加人数	延べ111人

セ ひの市民大学連携コース(委託)

前期 百人一首入門

開催日	5月27日～7月22日
会 場	実践女子大学
開催回数	全5回
内容他	和歌としての「百人一首」を学ぶ
講師	久保 貴子(実践女子大学下田歌子研究所研究員)
参加人数	延べ245人

後期 論語入門

開催日	10月21日～2月24日
会 場	実践女子大学
開催回数	全5回
内容他	書物としての「論語」とその時代を学ぶ。
講師	影山 輝國氏(実践女子大学国文学科教授)
参加人数	延べ290人

⑦障害者事業

ア. 少年学級 <委託事業>

市内の特別支援教育を受けている生徒を対象に、月一回の定例会を開き、ボランティアと一緒に遊び、学んでいる。また年7回第1土曜日には、リトミック教室を開催

している。

運営は、「日野市少年学級親の会」が行っている。

ボランティアは、中央大学のボランティアサークルを中心に、大学生と社会人が参加している。

ア)委託先 日野市少年学級親の会 会長 鹿野 淳子

イ)委託料 1,503,360円

ウ)運 営 日野市少年学級親の会

会 長 鹿野 淳子

副会長 斉野 美紀 清川 宏美

会 計 小島 喜美代

書 記 大知 理恵 釜谷 美雪

会計監査 五十嵐 水香

エ)リトミック教室活動内容

開催日	5月6日～11月4日 午前10時～正午
会 場	中央公民館
開催回数	全7回
講師	山崎 詩奈子
参加人数	延べ103人

オ)定例会活動内容

月 日	内 容	会 場	参加人数
4月16日	こあらんど	中央公民館高幡台分室	51
4月25日	総会	中央公民館高幡台分室	16
5月14日	開級式	中央公民館高幡台分室	63
6月11日	みんなの遊・友ランド	市民の森ふれあいホール	88
7月4日	合宿説明会	中央公民館高幡台分室	12
7月4日	親睦会	中央公民館高幡台分室	12
8月25日～ 26日	合宿	大成荘(山梨県)ほか	50
9月10日	ボウリング大会	立川スターレーン	63
10月8日	運動会	中央公民館高幡台分室	55
11月19日	サッカー教室	中央公民館高幡台分室	59
12月10日	クリスマス会	中央公民館高幡台分室	73
1月26日	リトミック懇談会	中央公民館	12
2月4日	豆腐作り例会	中央公民館高幡台分室	61
3月27日	バスハイク	八景島シーパラダイス	71

14回 延べ686人

イ. 青年・成人学級 <委託事業>

青年・成人学級は「健康な青年と触れ合う場所が欲しい」という障害を持った青年達の願いを実現するために、昭和50年に「日野市障害者青年学級」として誕生した。スローガンとして「ともに生き、ともに学ぶ」を掲げ、地域に根ざした活動を続け、現在に至る。

この学級の特色は、16歳以上の障害を持つ青年も持たない青年も一緒になって、自分達の学級の企画・運営を行っている点にある。現在さまざまな障害を持った青年達と学生や社会人など多彩な青年達が、定例会と分科会に参加し活動している。

平成5年度から地域で生活する成人期の障害者を対象に、衣食住働などを学習する分科会「生活を考える」が始まり、平成9年度には成人講座として交流中心の青年学級とは別に活動するようになる。対象は25歳以上の希望者で、地域での生活についてさまざまな問題を学習する場を提供し、生き生きと暮らす力を学ぶことを意識してプログラムを組んでいる。平成12年度より、成人講座から成人学級へ変更し、平成28年度から団体名も新しく「日野市青年・成人学級」となり、積極的な活動を続けている。

ア)委託先 日野市障害者青年・成人学級仲間の会 代表 木村 美子

イ)委託料 2,613,000円

ウ)運 営 青年・成人学級運営委員会役員

青年学級担当 運営委員長 向山 貴子

会 計 長谷川 千夏

成人学級担当 熊谷 亜由美

各学級の各定例会の前に運営委員会を開き、企画・準備を行った。

エ)青年学級定例会活動内容

開催日	内 容	会 場	参加 人数
5月21日	開級式	中央公民館	45
6月18日	絵画教室	中央公民館	68
7月16日	合宿説明会	中央公民館	57
8月 5日 ～6日	夏合宿	八ヶ岳高原大成荘	80
9月17日	多摩動物公園散策	多摩動物公園	中止
10月15日	カラオケ・サッカー教室	仲田小学校	42
11月26日	遠足	アクアワールド大洗	68
12月17日	クリスマス会	市民の森ふれあいホール	74
1月21日	新春お楽しみ会	ひの煉瓦ホール	48
2月18日	サンドイッチ・スープ作り	中央公民館・第一中学校	56
3月18日	修了式	中央公民館	55

11回 延べ593人

オ)成人学級活動内容

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月28日	開級式	中央公民館	13
6月11日	高幡不動アジサイまつり	高幡不動	16
7月2日	ボウリング大会	SAP日野	14
8月6日	調理実習	中央公民館	13
9月3日	カラオケ	まねきねこ	15
10月1日	社会見学	昭和記念公園	16
11月12日	産業まつり見学	仲田の森蚕糸公園	14
12月17日	クリスマス会	市民の森ふれあいホール	15
1月21日	新春おたのしみ会	ひの煉瓦ホール	10
2月3日 ～4日	合宿	三保の松原	9
3月18日	修了式	中央公民館	12

11回 147人

カ)分科会活動内容

A.ワープロ

開催日	4月～3月 第2・4金曜日 午後7時～8時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全22回
講師	栗原 亜希子
参加人数	延べ67人

B. 料理

開催日	6月～3月 第2土曜日 午前10時～午後0時30分
会 場	中央公民館
開催回数	全9回(6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月)
講師	鈴木 直美
参加人数	延べ144人

C. リズム体操

開催日	6月～3月 第4日曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館、市民の森ふれあいホール
開催回数	全6回(6月・9月・10月・1月・2月・3月)
講師	前田 致加子
参加人数	延べ87人

D. コーラス

開催日	6月～3月 第4土曜日 午後1時30分～2時30分
会 場	中央公民館

開催回数	全6回（6月・10月・11月・1月・2月・3月）
講師	樋口 周子
参加人数	延べ52人

4 公民館利用状況

（１） 中央公民館

① 目的別利用数（年間）

公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,281	17,192	2,604	23,658	69	734	63	1,294	0	0	4,017	42,878

※ 陶芸窯利用40回 登録団体6サークル

（回）（人）

② 目的 別利用数（月別）

	公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ （文化関係）		市民グループ （体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
月	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	66	725	237	2,218	8	92	0	0	0	0	311	3,035
5	182	3,073	178	1,725	3	20	0	0	0	0	363	4,818
6	98	1,189	233	2,174	4	16	0	0	0	0	335	3,379
7	87	949	240	2,231	1	8	1	3	0	0	329	3,191
8	156	1,941	171	1,556	2	20	2	26	0	0	331	3,543
9	92	1,941	233	2,106	9	85	3	74	0	0	337	4,206
10	92	1,048	238	2,153	6	81	2	32	0	0	338	3,314
11	96	1,209	208	1,952	7	93	50	1,090	0	0	361	4,344
12	127	1,574	186	1,625	6	39	1	13	0	0	320	3,251
1	75	1,235	244	2,028	9	112	2	50	0	0	330	3,425
2	100	966	220	1,970	8	92	2	6	0	0	330	3,034
3	110	1,342	216	1,920	6	76	0	0	0	0	332	3,338
計	1,281	17,192	2,604	23,658	69	734	63	1,294	0	0	4,017	42,878

（回）（人）

① 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室 A	講座室 B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	64.0	52.0	76.0	48.0	44.0	100.0	64.0	44.0
	午後	72.0	80.0	76.0	12.0	32.0	88.0	68.0	12.0
	夜間	52.0	36.0	48.0	4.0	28.0	60.0	76.0	4.0
5	午前	87.0	73.9	91.3	60.9	73.9	91.3	78.3	69.6
	午後	87.0	91.3	82.6	65.2	65.2	95.7	73.9	17.4
	夜間	43.5	39.1	43.5	43.5	47.8	60.9	65.2	34.8
6	午前	61.5	46.2	69.2	38.5	61.5	92.3	76.9	57.7
	午後	73.1	69.2	73.1	19.2	50.0	80.8	76.9	11.5
	夜間	50.0	50.0	46.2	3.8	38.5	61.5	57.7	23.1
7	午前	73.1	50.0	84.6	50.0	38.5	80.8	84.6	46.2
	午後	69.2	73.1	88.5	11.5	42.3	92.3	80.8	7.7
	夜間	23.1	26.9	38.5	7.7	46.2	80.8	65.4	7.7
8	午前	61.5	65.4	53.8	57.7	53.8	84.6	88.5	19.2
	午後	73.1	73.1	65.4	46.2	57.7	88.5	76.9	15.4
	夜間	34.6	34.6	42.3	23.1	34.6	69.2	53.8	0.0
9	午前	76.0	48.0	64.0	60.0	44.0	96.0	80.0	52.0
	午後	92.0	84.0	76.0	32.0	56.0	80.0	80.0	16.0
	夜間	48.0	48.0	48.0	8.0	36.0	68.0	48.0	16.0
10	午前	50.0	46.2	76.9	50.0	42.3	96.2	92.3	61.5
	午後	80.8	80.8	57.7	34.6	38.5	84.6	84.6	7.7
	夜間	53.8	53.8	38.5	19.2	23.1	61.5	53.8	15.4
11	午前	66.7	79.2	91.7	58.3	62.5	95.8	75.0	66.7
	午後	87.5	83.3	66.7	45.8	66.7	83.3	79.2	12.5
	夜間	50.0	45.8	50.0	29.2	37.5	79.2	62.5	29.2
12	午前	65.2	69.6	95.7	78.3	65.2	78.3	69.6	52.2
	午後	69.6	73.9	87.0	69.6	65.2	73.9	65.2	30.4
	夜間	21.7	21.7	47.8	21.7	43.5	65.2	34.8	30.4
1	午前	75.0	62.5	70.8	62.5	54.2	79.2	58.3	50.0
	午後	83.3	75.0	87.5	54.2	58.3	83.3	95.8	4.2
	夜間	50.0	41.7	41.7	8.3	29.2	75.0	62.5	20.8
2	午前	69.6	60.9	91.3	60.9	47.8	91.3	87.0	56.5
	午後	95.7	95.7	78.3	39.1	56.5	87.0	73.9	21.7
	夜間	30.4	30.4	47.8	13.0	34.8	82.6	60.9	21.7

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
3	午前	69.2	46.2	76.9	61.5	46.2	80.8	73.1	42.3
	午後	88.5	88.5	88.5	26.9	69.2	88.5	88.5	19.2
	夜間	11.5	19.2	30.8	7.7	30.8	69.2	46.2	7.7
年間計	午前	68.0	57.9	78.1	56.9	52.5	88.9	77.4	51.2
	午後	80.8	80.5	77.1	37.4	54.5	85.5	78.8	14.5
	夜間	39.1	37.4	43.4	15.5	35.7	69.4	57.2	17.2

(使用日数/開館日数=%)

(2) 中央公民館高幡台分室

① 目的別利用数(年間)

公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ(文化関係)		市民グループ(体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
261	3,515	2,195	18,777	282	2,286	172	2,339	76	1,043	2,986	27,960

※陶芸窯利用 30回 登録団体 5サークル

(回) (人)

② 目的別利用数(月別)

月	公民館事業または中央公民館高幡台分室使用分		市民グループ(文化関係)		市民グループ(体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	38	418	165	1,499	25	187	11	100	8	133	247	2,337
5	12	202	185	1,547	21	158	16	186	14	168	248	2,261
6	13	129	191	1,553	25	185	26	478	1	9	256	2,354
7	18	252	187	1,740	21	171	9	86	2	19	237	2,268
8	22	345	168	1,406	14	102	13	61	1	5	218	1,919
9	15	229	197	1,802	25	161	13	86	3	29	253	2,307
10	40	428	171	1,402	27	194	10	163	2	19	250	2,206
11	20	305	197	1,600	22	184	9	101	8	162	256	2,352
12	19	285	181	1,512	23	244	8	96	4	42	235	2,179
1	13	135	164	1,339	24	244	22	451	8	120	231	2,289
2	23	313	177	1,570	26	187	17	265	9	129	252	2,464
3	28	474	212	1,807	29	269	18	266	16	208	303	3,024
計	261	3,515	2,195	18,777	282	2,286	172	2,339	76	1,043	2,986	27,960

(回) (人)

③ 部屋別利用率（月別）

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	48.0	76.0	68.0	56.0	64.0	64.0	76.0	44.0
	午後	32.0	52.0	64.0	64.0	56.0	36.0	72.0	40.0
	夜間	4.0	20.0	24.0	0.0	8.0	8.0	8.0	4.0
5	午前	34.8	78.3	82.6	65.2	52.2	73.9	78.3	52.2
	午後	21.7	52.2	65.2	56.5	87.0	52.2	78.3	39.1
	夜間	0.0	30.4	21.7	4.3	21.7	13.0	8.7	8.7
6	午前	26.9	69.2	65.4	61.5	61.5	61.5	73.1	46.2
	午後	26.9	46.2	76.9	57.7	84.6	42.3	61.5	53.8
	夜間	0.0	23.1	19.2	0.0	3.8	0.0	11.5	11.5
7	午前	38.5	61.5	65.4	53.8	42.3	46.2	76.9	38.5
	午後	30.8	53.8	65.4	57.7	53.8	42.3	84.6	30.8
	夜間	0.0	30.8	15.4	3.8	11.5	3.8	3.8	0.0
8	午前	30.8	46.2	61.5	50.0	26.9	65.4	80.8	26.9
	午後	30.8	42.3	65.4	53.8	46.2	50.0	73.1	26.9
	夜間	3.8	23.1	11.5	0.0	7.7	7.7	3.8	3.8
9	午前	40.0	68.0	80.0	52.0	48.0	68.0	88.0	40.0
	午後	36.0	52.0	76.0	64.0	68.0	52.0	80.0	36.0
	夜間	0.0	24.0	24.0	0.0	8.0	4.0	4.0	0.0
10	午前	42.3	61.5	69.2	53.8	46.2	65.4	76.9	38.5
	午後	42.3	42.3	65.4	57.7	57.7	57.7	69.2	30.8
	夜間	7.7	11.5	26.9	0.0	23.1	7.7	3.8	3.8
11	午前	50.0	79.2	79.2	58.3	79.2	83.3	75.0	20.8
	午後	41.7	45.8	79.2	62.5	87.5	58.3	66.7	16.7
	夜間	0.0	16.7	25.0	0.0	29.2	12.5	0.0	0.0
12	午前	43.5	73.9	78.3	56.5	47.8	73.9	82.6	34.8
	午後	30.4	60.9	78.3	52.2	69.6	65.2	73.9	39.1
	夜間	0.0	17.4	21.7	0.0	13.0	8.7	0.0	0.0
1	午前	54.2	50.0	66.7	50.0	58.3	58.3	83.3	45.8
	午後	37.5	37.5	70.8	50.0	62.5	50.0	75.0	33.3
	夜間	4.2	16.7	16.7	0.0	25.0	8.3	4.2	4.2
2	午前	37.5	79.2	91.7	54.2	41.7	66.7	83.3	37.5
	午後	29.2	62.5	70.8	50.0	62.5	54.2	79.2	37.5
	夜間	0.0	41.7	25.0	0.0	12.5	20.8	4.2	8.3

3	午前	42.3	80.8	73.1	50.0	65.4	73.1	80.8	57.7
	午後	26.9	65.4	73.1	53.8	57.7	73.1	84.6	69.2
	夜間	0.0	50.0	23.1	0.0	19.2	15.4	15.4	15.4
年間計	午前	40.6	68.5	73.2	55.0	52.7	66.4	79.5	40.3
	午後	32.2	51.0	70.8	56.7	65.8	52.7	74.8	37.9
	夜間	1.7	25.5	21.1	0.7	15.1	9.1	5.7	5.0

(使用日数／開館日数＝%)

5 第30回公民館まつり

今年度の公民館まつりは、「出会い ふれあい 学び合い」をテーマに、5月20日、21日の両日に催された。日ごろ中央公民館を中心に活動している各団体・サークルが、一年間の活動の成果を、作品の展示、音楽演奏、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

■参加者 延べ3,000人

会場		5月20日(土) 10:00～16:00	5月21日(日) 10:00～15:00
中央公民館	実習室	喫茶コーナ	
	ホール	人形劇、二胡、合唱、管弦楽	マンドリン、朗読、
	講座室	フルート・オカリナ、ウクレレ、リコーダー、ハーモニカ、合唱	舞踊、ギター
	視聴覚室	切り絵作品展示(体験)、絵手紙作品展示(体験)	
中央福祉センター	2階廊下	地域活動展示	
	老人 娯楽室2	囲碁(体験)	
	集会室1. 2	陶芸、木彫、手編み、川柳、活動展、写真など作品展示	
	福祉講座 室	水墨画作品展示(体験)	
	集会室3	ステンドグラス作品展示	
	健康 相談室	デジタル写真	
交流館	大会議室	香道(体験)	
公民館前広場		日野囃子、剣術演武	舞踊、踊り
		模擬店、作品販売、バザー、おもちゃ修理、受付及び本部 パン、日野産野菜、薔薇など販売	
児童館前広場		ひの児童館まつり	

参加、応援・協力サークル 52団

6 第13回中央公民館高幡台分室まつり

市内程久保地区に、平成16年4月に公民館事業を運営する恒常的な拠点として高幡台分室が開設された。多くのサークルが登録し、それぞれの学習を通して地域の振興に努めている。

高幡台分室まつりは高幡台分室及び教育センター体育館を会場として、日頃高幡台分室を中心に活動しているサークルが、一年間の活動の成果を、展示、舞台、模擬店や体験コーナーを通して発表し、広く市民の皆さんに楽しんでいただくことができた。

来場者 450人

主 催 公民館高幡台分室まつり実行委員会

協 力 公民館利用者交流会

開催日	10月21日
時 間	10:00 ~ 15:00
展 示	俳句作品、版画、ハワイアンキルト、陶芸、写真、歴史資料、鉄道模型、手作り教室、展示販売
ステージ	まつり囃子、太極拳、マジック、ギター、尺八、一輪車、朗読、弦楽合奏
体 験	ヨガ、香道
模擬店	カレーライス、ピザ、もりそば、うどん、フランクフルト、すいとん汁、じゃがいももち、チョコレートケーキ、ラスク、クッキー、コーヒー、ハーブティー

7 第21回ひのアートフェスティバル

ひのアートフェスティバルは、市民が集う手作りの芸術祭で、平成9年度から「地域文化の振興」と「身近なところで芸術を享受しよう」という趣旨で開催されている。今回は21回目を迎え、8月19日・20日の両日に仲田の森蚕糸公園を舞台に開催した。ステージ部門では老若男女を問わず熱気あふれる演奏で盛りあがった。

フリーマーケットやクラフト出店などで賑い、模擬店では環境に優しいリユース食器を使った。

参加者 延べ5,900人

共 催 ひのアートフェスティバル実行委員会・中央公民館

開催日	8月19日(土)	8月20日(日)
時 間	10:00~20:00	10:00~19:00

ステージ	日野第一中学校吹奏楽部 A-BOY いにしえいしょんず ドワタコモ チョコチップマグナム ロンリープラネットボーイズ オリビアバンド まったりー・フッカー シルバー・ヘアード・ダディズ ビートクラブ LOW-GOOD アラ・アッソ・ココ	どんなもんだい ノスタルジアンヌ SENA ブルースカイ・スペシャル Praise in the sun Gospel Choir ざぶとんず カズン パパっ子マテリアル ウリープカ ザ・ビートレス S-BLOOD アンヌール タマ・ドリーム・ジャズ・オーケストラ
手作り 広場など	ワンワン大行進、ミニチュアガーデン、ふわふわマスコット、オシャレ花かんむり、カラフルフクロウ、牛乳ウォッチ、アートラリー、森のお絵かき屋さんなど	
模擬店、フリーマーケット、クラフト出店、氷の彫刻		

8 公民館音楽サークルの集い～秋フェス

中央公民館で活動する音楽サークルには、日頃交流する場がなかったため、お互いに楽しみながら交流を深める場づくりとして初めて開催した。各音楽サークルが互いの演奏発表を鑑賞し合い、交流を深めることができた。

開催日	11月23日(土)(全1日)
会場	中央公民館
講師・出演	各音楽サークル
参加人数	延べ250人

9 居場所づくり「ゆる・カフェ・時間」

中央公民館の談話室を「新しいことが生まれるみんなの居場所」にするために、日野市社会福祉協議会・日野市ボランティアセンター・日野図書館・日野児童館と企画協力しながら進める「居場所」事業。バリエーションに富む企画を実施し、中央公民館発の居場所づくりが進められた。

開催日	全9回
会場	中央公民館(談話室・中庭の活用)
参加人数	延べ460人

10 パネル・ショーケース展示状況

中央公民館の談話室内にあるパネル・ショーケースは、公民館を利用する自主グループ等が日頃の活動成果の作品を展示し、発表する場となっている。

また、公民館を訪れる方々に対し、広く社会教育活動への関心を与えている。

展示団体・内容

仲田小学校PTA(絵封筒)、きつつき会(木彫り)、ひの切り絵サークル(切り絵) デジカメIMG、楽しいデジカメクラブ(写真) パステルひの(絵画) 悠悠散歩クラブ(写真、手工芸品など)

11 公民館保育室

昭和60年度に開設し、専用保育室による保育は平成3年度から始まる。対象は市内在住の1歳6カ月から就学前までの幼児で、公民館主催事業の参加者または年間保育登録をしているグループに保育援助をしている。

親たちが学習・活動をしている間、子どもたちは専任保育者とともに保育室で2時間を過ごしている。天気のよい日には近くの公園にも出かけ、年齢の違う子どもたちとの遊びの中で、思いやりや協力の心も生まれている。親も子も学ぶ機会として「親・保育者・職員」のコミュニケーションを図っている。

(1) 公民館保育室の利用状況

保育援助認定グループ

団 体 名	利用回数	利用延人数
ママのポケット(手芸)	22	100
はだかんぼう(調理)	9	71
ゆるゆる手作りの会(手芸)	21	63
いるか(子育て学習)	10	30
ACT(子育て学習)	21	52
子どもへのまなざしママ会(子育て学習)	12	37
NP(子育て学習)	22	61
れあれあ3B体操	0	0
保育付き講座	9	52
保育懇談会	1	7
計	127(回)	473(人)

※合同保育を含む

保育援助は事前申込制で、1歳6カ月から就学前まで

12 公民館だより

編集は市民委員の協力により行われている。公民館の活動や事業を紹介するとともに、地域への関心を高めていくことを目的としている。年4回発行。

A3サイズ2つ折り全4ページで、市内の主な公共施設等で配布している。

号 (発行日)	仕 様	主 な 内 容
第152号 6月20日	A3 判二つ折 り4ページ単 色刷り2,000 〜2,500部	・サークルの仲間たち 人形劇サークル うどの大木 ・日野の風景 (49) カワセミハウスから、黒川清流公園を歩く ・バラエティサロン 中央公民館は50歳、日野高も同い年、だから一緒に楽しもう！・村山慈明七段と多面指し ・第30回公民館まつりが開催されました ・公民館運営審議会より ・三者懇談会を開催 ・高幡台分室で大そうじを行いました ほか
第153号 9月20日		・サークルの仲間たち 東京ファシリテーション・クラブ 日野 ・日野の風景 (50) 日野の梨は今 ・第21回ひのアートフェスティバルが開催されました ・夏休みが終わっちゃうよ！企画「ペットボトルソーラーカーを作ろう」 ほか
第154号 12月20日		・サークルの仲間たち おりづるの会 ・ひのっ子シェフコンテストが開催されました ・公民館運営審議会より ・第13回中央公民館高幡台分室まつりが行われました ・第1回公民館音楽サークル発表会「秋フェス」が行われました ほか
第155号 3月20日 ※カラー版		・サークルの仲間たち 悠悠散歩クラブ・香道なごみ会 ・公民館運営審議会より ・ひの市民大学「生誕150年に読み直す夏目漱石」講座を終えて ・公民館をみんなで考える新しいころみ！！ ほか

《参考》平成28・29年度講座等参加人数

	平成28年度	平成29年度
成人事業	6,568	6,472
講座	1,753	1,873
バラエティサロン	636	234
公民館映画会	330	285
委託・公民館平和事業	92	125
委託・外国人のための日本語教室	3,136	3,185
委託・田んぼの学校	621	770
公民館開設50周年記念事業	375	
記念講演会	375	
高齢者事業	657	708
講座	657	708
青少年事業	118	501
講座	86	464
委託・ひのっ子シェフコンテスト	32	37
市民大学	1,477	1,709
障害者事業	1,952	1,914
委託・少年学級	864	789
委託・障害者青年・成人学級	1,088	1,125
イベント	8,700	10,060
公民館まつり	4,200	3000
分室まつり	600	450
ひのアートフェスティバル	3,900	5,900
秋フェス(サークル交流会)		250
ゆる・カフェ・時間(談話室活用)		460
総計	19,847	21,364

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第 26 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	鈴木 辰郎	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	枝川 一巳	公募による市民
委員	内田 清	学校教育の関係者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	家庭教育の向上に資する活動を行う者

任期 自 平成 28 年 7 月 1 日
至 平成 30 年 6 月 30 日

第 27 期公民館運営審議会委員名簿

委員長	宮崎 竹子	社会教育の関係者
副委員長	丹間 康仁	学識経験者
委員	畔上 栄輔	公募による市民
委員	宇賀神 宏	社会教育の関係者
委員	須崎 奈緒美	公募による市民
委員	内田 清	学校教育の関係者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	南雲 成二	学識経験者
委員	樋口 周子	社会教育の関係者
委員	杉本 英二	家庭教育の向上に資する活動を行う者

任期 自 平成 30 年 7 月 1 日
至 平成 32 年 6 月 30 日

平成 30 年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(平成 29 年度事業)

平成 30 年 9 月
日野市中央公民館

〒191-0011

東京都日野市日野本町七丁目 5 番地の 23

電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110